

○市の事務

事務の大綱	
1	国民保護計画の作成
2	国民保護協議会の設置、運営
3	国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部の設置、運営
4	組織の整備、訓練
5	警報の伝達、避難実施要領の策定、避難住民の誘導、関係機関の調整その他の住民の避難に関する措置の実施
6	救援の実施、安否情報の収集及び提供その他の避難住民等の救援に関する措置の実施
7	退避の指示、警戒区域の設定、消防、廃棄物の処理、被災情報の収集その他の武力攻撃災害への対処に関する措置の実施
8	水の安定的な供給その他の国民生活の安定に関する措置の実施
9	武力攻撃災害の復旧に関する措置の実施

第4章 市の地理的、社会的特徴

市は、国民保護措置を適切かつ迅速に実施するため、その地理的、社会的特徴等について確認することとし、以下のとおり、国民保護措置の実施に当たり考慮しておくべき市の地理的、社会的特徴等について定める。

(1) 地形

本市は、平成17年(2005年)10月1日に那須郡南那須町と同郡烏山町が合併し誕生した。本市は、栃木県の東部に位置し、西は高根沢町、北はさくら市、那珂川町、南は市貝町、茂木町、東は茨城県常陸大宮市と接する県境にあり、総面積は174.42k㎡で県全体の2.7%を有している。

地勢は、八溝山系に属し、那珂川が平野部を貫流している。那珂川右岸には丘陵地帯が形成され、丘陵を縫うように荒川や江川などの大小河川が貫流している。

(2) 気候

気候は、典型的な内陸型気候で、年間平均気温は13度前後、年間降水量は約1,300mmで寒暖の差は大きいものの、台風や洪水、地震等の自然災害は少なく、全体的には温暖で生活しやすい地域といえる。

(3) 人口分布

本市の人口は、合併時の平成17年10月1日現在(国勢調査)31,152人である。0～14歳人口の減少、65歳以上人口の増加、1世帯あたり人員の低下、こういった少子化、高齢化、核家族化の傾向が顕著にあらわれている。全人口の約2割が2つの市街地に居住しており、その他は、那珂川、荒川などの沿川地域に、帯状の集積が見受けられる。

(4) 道路の位置等

首都東京から約 110km、県都宇都宮から約 29km 離れ、東北、常磐両自動車道とも、それぞれ約 50km の距離にある。道路は、国道 2 本と主要地方道 7 本があり、国道 293 号は市の北部を東西に、国道 294 号は市の中心部を南北に走っている。特に、国道 294 号と県道宇都宮那須烏山線が交差する市内の中心部は、栃木県東部の交通の要所になっている。

(5) 鉄道の位置等

鉄道は、J R 烏山線が市内を東西に走り、市内に 5 つの駅があり、烏山駅から宇都宮駅まで約 50 分で結ばれている。

